

氏名 平田 堅大

法科大学院等の在籍年次 2L

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

TNY法律事務所（8月18日～9月16日 ＊事務所での勤務は平日のみ）

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

翻訳業務、BOI（税制優遇政策）についてのリサーチ、法律相談や商標登録などへの同行、タイで働く日本人弁護士の勉強会への参加など。

構成は日本人3名（弁護士2名）、タイ人8名（弁護士5名）で、
勤務時間は、9時から17時半までで、12時から1時間ほど休憩です。

3 宿舍及びその他の生活環境について

宿舍は事務所の最寄り駅から4、5駅ほど離れたホテルに宿泊していました。ホテル周辺にはマックスバリュなどの日系企業のスーパーもあるため、日本の商品が売られており、日用品について困ることはありませんでした。ホテルの下にファミリーマートもあり、便利であったと思います。朝食を帰りに買って帰ることが多かったです。ただ、ホテルのWiFiが弱く、SIMフリーでない方などはホテル選びの時に注意したほうが良いです。

MRTという地下鉄で事務所まで移動していたのですが、平日の朝と夕方の通勤時間帯はとても混みます。3本くらい電車を逃さないと乗れないことが日常でしたし、乗っても満員電車です。運賃自体は往復150円程度で安いのですが、すごく疲れるので、多少高くても事務所の最寄りに宿泊するほうがいいのかとも思います。

事務所周辺は、とても都会で、デパートの中にフードコートがあり、タイ料理はもちろんのことそれ以外も安く食べることができます。日本食も日本と同じ外食の値段を出せば食べることができます。六甲道なんかよりずっと栄えています。

治安については特に怖い思いをしたことはありませんが、日本人と分かれると相場より高い値段をいわれることが多いので気を付けてください。

4 出発に向けた準備等について

海外インターンが決まったらすぐに航空券を予約しました。他には、自分の携帯がSIMフリーに対応していなかったのでモバイルWiFiをレンタルしました。

英語の準備をもっとしたかったのですが、正直テスト一週間後だったため、あまりできませんでした。

5 インターンシップに要した費用

航空券は補助が出るので、それ以外では、宿泊費が7万円ほど、WiFiは友人と利用していたので1700円ほど、食費は何を食べるかによりますが、観光地などに行かない限り、一日500円前後でした。観光やお土産代で、4万円ほど使ったような気がします。

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

楽しいことばかりではないですが、自分にとって良い経験になることは間違いないと思います。特に海外に滞在していたことや留学経験のない人には、学生としてこのような経験ができるのは最後の機会ではないでしょうか。私も英語はあまりできませんが、失敗できるのは学生のうちという思いで参加しました。司法試験のことを考えると、夏休み一カ月海外インターンに行くことは勇気が必要ですが、少しでも行きたいと思う気持ちがあるなら、参加してみるのもいいと思います。実際に行った人に聞いてみてください。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

英文契約書という、受験でやってきた英語の翻訳とは違うルールも多くあり、翻訳業務は大変でしたが、実際に実務の現場で英文契約書につちえ学ぶことができたのは、自分にとってとても良い経験となりました。

ロースクールという閉鎖的な環境で過ごしている中で、すごく良い刺激となり、自分の将来の進路を考えるうえでも、参考になったと思います。